

令和5年(2023年)

十勝の交通安全

十勝地区交通安全推進協議会

【 用 語 解 説 】

交通事故	道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいう。
死亡（死者）	交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
重傷（重傷者）	交通事故によって負傷し、一箇月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
軽傷（軽傷者）	交通事故によって負傷し、一箇月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
負傷（負傷者）	重傷（重傷者）と軽傷（軽傷者）の合計をいう。
第一当事者	最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
第二当事者	過失がより軽い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が重い者をいう。
高齢者の交通事故	年齢65歳以上の者が関係した事故

目 次

タイトル	内 容	ページ 番号
§ 1 交通事故の概況について	(1) 北海道の発生状況 (2) 管内の発生概況	1
§ 2 交通事故の全体的な特徴について	(1) 月別発生状況	2
	(2) 曜日別発生状況	
	(3) 時間別発生状況	
	(4) 道路別発生状況	3
	(5) 道路形状別発生状況	
	(6) 事故類型別発生状況	
	(7) 状態別死者・傷者状況	
	(8) 年齢層別状態別死者・傷者数	4
	(9) 法令違反別発生状況（第1当事者）	5
	(10) 居住地別発生状況（第1当事者）	
	(11) 対象別発生状況（第1当事者）	6
§ 3 事故の個別的特徴について	(1) 二輪車の交通事故	7
	(2) 高校生の交通事故	
	(3) 歩行者の交通事故	
	(4) こどもの交通事故	
	(5) 高齢者(65歳以上)の交通事故	8
	(6) 自転車による交通事故	
	(7) 飲酒運転による交通事故	
§ 4 交通事故防止に向けた取組み	(1) 令和5年(2023年)取組概要	9
	(2) 高齢者による交通事故防止への取組	10
	(3) デイ・ライト点灯率調査	
参考資料	1.管内死亡事故の概要	11-12
	2.管内の交通安全功労者等	13
	3.十勝地区交通安全推進協議会の規約等 十勝地区交通安全推進協議会規約	14-15
	十勝地区交通安全推進協議会事務局規程	16
	4.十勝地区交通安全推進協議会構成団体名簿	17

§ 1 交通事故の概況について

(1) 北海道の発生状況

・前年と比べ発生件数、死者数、傷者数全て増加となった。

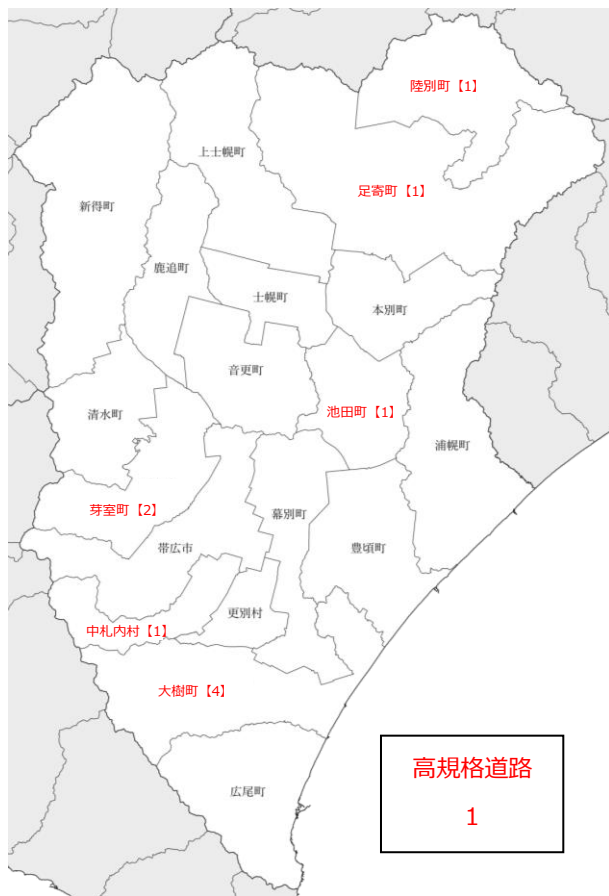
年	区分	発生件数				死者数	傷者数		
		死亡	重傷	軽傷	小計		重傷者数	軽傷者数	小計
令和5年(2023年)		118	921	8,043	9,082	131	994	9,607	10,601
令和4年(2022年)		113	845	7,499	8,457	115	914	8,871	9,785
増減	増減数	5	76	544	625	16	80	736	816
	増減率	4.4%	9.0%	7.3%	7.4%	13.9%	8.8%	8.3%	8.3%

〔 ※主要都道府県の交通事故死者数
大阪府 148、愛知県 145、東京都 136、千葉県 127、埼玉県 122 〕

(2) 管内の発生概況

・令和5年(2023年)中における管内の交通事故は、発生件数560件、死者数10人、傷者数630人であった。発生件数、死者数、傷者数全て前年より増加となった。

年	区分	発生件数				死者数	傷者数		
		死亡	重傷	軽傷	小計		重傷者数	軽傷者数	小計
令和5年(2023年)		7	55	498	560	10	63	567	630
令和4年(2022年)		7	64	333	404	7	68	378	446
増減	増減数	0	-9	165	156	3	-5	189	184
	増減率	0.0%	-14.1%	49.5%	38.6%	42.9%	-7.4%	50.0%	41.3%



令和5年(2023年) 市町村別発生状況

	発生件数	死者数	傷者数
1 音更町	71		79
2 士幌町	6		6
3 上士幌町	3		4
4 鹿追町	1		1
5 新得町	6		8
6 清水町	19		21
7 芽室町	23	2	21
8 中札内村	4	1	3
9 更別村	2		2
10 大樹町	2	4	4
11 広尾町	3		3
12 幕別町	30		32
13 池田町	8	1	10
14 豊頃町	3		8
15 本別町	5		5
16 足寄町	6	1	9
17 陸別町	1	1	3
18 浦幌町	1		1
19 帯広市	366		410
合計	560	10	630

※高規格道路での事故含む

高規格道路	2	1	1
-------	---	---	---

国土数値情報 (H30行政区域データ) を加工して作成
(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v2.3.html>)

§ 2 交通事故の全体的な特徴について

(1) 月別発生状況

- 発生件数と傷者数は12月が最も多く、死者数は7月の5人が最も多かった。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	45	32	27	44	36	54	48	52	49	40	66	67	560
構成率	8.0%	5.7%	4.8%	7.9%	6.4%	9.6%	8.6%	9.3%	8.8%	7.1%	11.8%	12.0%	100%
死者数			1				5		1	1	1	1	10
構成率			10.0%				50.0%		10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	100%
傷者数	48	33	37	56	39	58	56	55	56	44	72	76	630
構成率	7.6%	5.2%	5.9%	8.9%	6.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.9%	7.0%	11.4%	12.1%	100%

[一日平均の事故]

発生件数	1.53 (件/日)
死者数	0.03 (人/日)
傷者数	1.73 (人/日)

[1か月平均の事故]

発生件数	46.67 (件/月)
死者数	0.83 (人/月)
傷者数	52.50 (人/月)

(2) 曜日別発生状況

- 発生件数、傷者数は金曜日が最も多かった。
- 死者は日曜日が最も多く、火曜日・土曜日はなかった。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	合計
発生件数	80	78	81	86	91	78	66	560
構成率	14.3%	13.9%	14.5%	15.4%	16.3%	13.9%	11.8%	100%
死者数	1		1	2	1		5	10
構成率	10.0%		10.0%	20.0%	10.0%		50.0%	100%
傷者数	86	91	89	91	103	89	81	630
構成率	13.7%	14.4%	14.1%	14.4%	16.3%	14.1%	12.9%	100%

(3) 時間別発生状況

- 発生件数は16時～18時が多く発生し、傷者数も16時～18時の時間帯が多くなった。
- 致死率は昼間1.8%、夜間1.6%となった。

発生時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
	発生件数		7	7	44	92	78	78	75	98	46	24	11
構成率		1.3%	1.3%	7.9%	16.4%	13.9%	13.9%	13.4%	17.5%	8.2%	4.3%	2.0%	100%
死者数			1	4		1	1	1	1	1			10
構成率			10.0%	40.0%		10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%			100%
致死率			14.3%	9.1%		1.3%	1.3%	1.3%	1.0%	2.2%			1.8%
傷者数		8	6	50	100	88	93	84	117	47	24	13	630
構成率		1.3%	1.0%	7.9%	15.9%	14.0%	14.8%	13.3%	18.6%	7.5%	3.8%	2.1%	100%

項目	区分	昼間 (日出～日没)	夜間 (日没～日出)
	発生件数		433
発生構成率		77.3%	22.7%
死者数		8	2
死者構成率		80.0%	20.0%
致死率		1.8%	1.6%
傷者数		495	135
傷者構成率		78.6%	21.4%

(4) 道路別発生状況

- ・発生件数、傷者数は市町村道が最も多く、死者数は道道が最多となった。

道路別	国道	道道	市町村道	高速国道	指定自専道	その他の道路	合計
発生件数	139	104	287		2	28	560
構成率	24.8%	18.6%	51.3%		0.4%	5.0%	100.0%
死者数	4	5			1		10
構成率	40.0%	50.0%			10.0%		100%
傷者数	166	117	318		1	28	630
構成率	26.3%	18.6%	50.5%		0.2%	4.4%	100%

(5) 道路形状別発生状況

- ・非市街地（カーブ）の死者が6人と最も多かった。（構成率 60.0%）

道路形状	市街地						非市街地						合計
	交差点		単路			その他	交差点		単路			その他	
	交差点	交差点付近	トンネル	カーブ	その他		交差点	交差点付近	トンネル	カーブ	その他		
発生件数	266	50		2	121	24	50	7		9	28	3	560
構成率	47.5%	8.9%		0.4%	21.6%	4.3%	8.9%	1.3%		1.6%	5.0%	0.5%	100%
死者数		1			1		1	1		6			10
構成率		10.0%			10.0%		10.0%	10.0%		60.0%			100%
傷者数	302	54		2	133	24	53	9		15	35	3	630
構成率	47.9%	8.6%		0.3%	21.1%	3.8%	8.4%	1.4%		2.4%	5.6%	0.5%	100%

(6) 事故類型別発生状況

- ・発生件数は車と車の事故が最も多かった。（構成率 75.7%）
- ・自転車対車両の事故は 65 件発生した。（構成率 11.6%）
- ・死者数は車と車の事故によるものが最も多かった。（構成率 80.0%）

	人と車の事故	自転車対車両	車と車の事故	車単独の事故	合計
発生件数	58	65	424	13	560
構成率	10.4%	11.6%	75.7%	2.3%	100%
死者数	1		8	1	10
構成率	10.0%		80.0%	10.0%	100%
傷者数	57	67	492	14	630
構成率	9.0%	10.6%	78.1%	2.2%	100%

(7) 状態別死者・傷者状況

- ・死者数は同乗中（乗用車）が、傷者数は運転中（乗用車）が最も多かった。

		歩行中	自転車乗車中	運転中				同乗中				特殊車乗車中	電車・汽軽車等	合計
				乗用車	貨物車	自動二輪	原付	乗用車	貨物車	自動二輪	原付			
死者数	RO5	1		2	1	2		4						10
	構成率	10.0%		20.0%	10.0%	20.0%		40.0%						100%
傷者数	RO4	4	1	1				1						7
	構成率	57.1%	14.3%	14.3%				14.3%						100%
傷者数	RO5	58	67	382	43	7		60	9		1	3		630
	構成率	9.2%	10.6%	60.6%	6.8%	1.1%		9.5%	1.4%		0.2%	0.5%		100%
傷者数	RO4	36	37	268	39	7	1	52	5			1		446
	構成率	8.1%	8.3%	60.1%	8.7%	1.6%	0.2%	11.7%	1.1%			0.2%		100%

(8) 年齢層別状態別死者・傷者数

【年齢層別状態別死者数】

年齢	状態	四輪乗用車		四輪貨物車		自動二輪		特殊車 乗車中	自転車 乗用中	歩行中	電車・自動車 軽車両等	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
～64歳	16-19歳	1	2			1						4
	20-24歳											
	25-29歳											
	30歳代											
	40歳代	1										1
	50歳代											
高齢者	60-64歳											
	65-69歳									1		1
	70-74歳					1						1
	75-79歳											
	80歳以上		2	1								3
高齢者計			2	1		1				1		5
構成率			40.0%	20.0%		20.0%				20.0%		100.0%
合計		2	4	1		2				1		10
構成率		20%	40%	10%		20.0%				10%		100%

【年齢層別状態別傷者数】

年齢	状態	四輪乗用車		四輪貨物車		自動二輪		特殊車 乗車中	自転車 乗用中	歩行中	電車・自動車 軽車両等	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
	未就学児									1		1
	幼稚園児		5						2		1	8
	小学生		2		1				7	3		13
	中学生				1				9			10
	高校生		1						26	3		30
～64歳	15歳以下		7		2				24	5	1	39
	16-19歳	6	3	1		1			21	3		35
	20-24歳	19	4	2		1			3	4		33
	25-29歳	40	5	4		1		1	1	4		56
	30歳代	87	9	14	1				1	3	1	116
	40歳代	78	7	9	3	1			4	7		109
	50歳代	69	11	9	3	3			3	9		107
	60-64歳	33	2	2						5		42
高齢者	65-69歳	15	3	1					1	5		25
	70-74歳	21							3	2	1	27
	75-79歳	6	3	1					1	2		13
	80歳以上	8	6						5	9		28
高齢者計		50	12	2					10	18	1	93
高齢者構成率		53.8%	12.9%	2.2%					10.8%	19.4%	1.1%	100.0%
合計	合計	382	60	43	9	7		1	67	58	3	630

(9) 法令違反別発生状況（第一当事者）

・発生件数は「前方不注意（構成率 20.0%）」が最も多く、次いで「前左右不確認」であった。

	酒 酔 い	追 越 し	通 行 区 分	歩行者妨害	最 高 速 度	過 労 運 転	信 号 無 視	一 時 不 停 止	車 間 距 離	踏 切	交 差 点 安 全 通 行	交 差 点 徐 行	右 折	左 折
件数		2		21	2	1	41	77			15	1		
構成率		0.4%		3.8%	0.4%	0.2%	7.3%	13.8%			2.7%	0.2%		
死者数		1		1	5									
構成率		100%		100%	50.0%									
傷者数		2		20	3	1	47	86			18	1		
構成率		0.3%		3.2%	0.5%	0.2%	7.5%	13.7%			2.9%	0.2%		
	整 備 不 良	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	前 左 右 不 確 認	ハ ン ド ル 操 作	ブ レ ー キ 操 作	安 全 速 度	後 方 不 確 認	そ の 他	そ の 他 の 違 反	不 明	歩 行 者 の 違 反	合 計	
件数		112	63	103	8	31	1	29	8	37	8		560	
構成率		20.0%	11.3%	18.4%	1.4%	5.5%	0.2%	5.2%	1.4%	6.6%	1.4%		100%	
死者数		2		1									10	
構成率		20.0%		10.0%									100%	
傷者数		133	70	109	12	38	1	30	9	41	9		630	
構成率		21.1%	11.1%	17.3%	1.9%	6.0%	0.2%	4.8%	1.4%	6.5%	1.4%		100%	

(10) 居住地別発生状況（第一当事者）

・全事故の 89.8%は管内居住者、5.5%が道内居住者、3.2%が道外居住者によるものであった。

居住地		管内における事故	管 外 者		不明	合計
		管内計	道 内	道 外		
R05	発生件数	503	31	18	8	560
	構成率	89.8%	5.5%	3.2%	1.4%	100%
	死者数	5	5			10
	構成率	50.0%	50.0%			100%
	傷者数	559	40	22	9	630
	構成率	88.7%	6.3%	3.5%	1.4%	100%
R04	発生件数	368	22	11	3	404
	構成率	91.1%	5.4%	2.7%	0.7%	100%
	死者数	7				7
	構成率	100.0%				100%
	傷者数	407	25	11	3	446
	構成率	91.3%	5.6%	2.5%	0.7%	100%
増減数	件数	135	9	7	5	156
	死者数	-2	5			3
	傷者数	152	15	11	6	184

(11) 対象別発生状況（第一当事者）

- ・発生件数は女性運転者(構成率 36.1%)が最も多く、次いで高齢運転者(構成率 28.6%)であった。
- ・死者数は若年運転者 5 人(構成率 35.7%)が最も多かった。

		若年 運転者	高校生	大学生	高 齢 運 転 者	女 性 運 転 者	建設業	運送業	公務員
R05	発生件数	74		6	169	213	37	12	12
	構成率	12.5%		1.0%	28.6%	36.1%	6.3%	2.0%	2.0%
	死者数	5			2	1		4	
	構成率	35.7%			14.3%	7.1%		28.6%	
	傷者数	86		6	191	242	45	15	15
	構成率	12.7%		0.9%	28.2%	35.7%	6.6%	2.2%	2.2%
R04	発生件数	48		3	126	145	21	7	6
	構成率	11.7%		0.7%	30.6%	35.2%	5.1%	1.7%	1.5%
	死者数				3				
	構成率				75.0%				
	傷者数	53		3	140	152	24	8	6
	構成率	11.9%		0.7%	31.3%	34.0%	5.4%	1.8%	1.3%

		農林業	漁業	ハイヤー タクシー	路線バス	貸切バス	レンタカー	スクール バス	ダンプカー
R05	発生件数	31	1	7	1		23		4
	構成率	5.3%	0.2%	1.2%	0.2%		3.9%		0.7%
	死者数	1							1
	構成率	7.1%							7.1%
	傷者数	35	1	8	1		30		3
	構成率	5.2%	0.1%	1.2%	0.1%		4.4%		0.4%
R04	発生件数	30	3	4	3		15		1
	構成率	7.3%	0.7%	1.0%	0.7%		3.6%		0.2%
	死者数	1							
	構成率	25.0%							
	傷者数	32	3	5	5		15		1
	構成率	7.2%	0.7%	1.1%	1.1%		3.4%		0.2%

※各件数重複含む

§ 3 事故の個別的特徴について

(1) 二輪車の交通事故

・二輪車事故は2件発生し、そのうち小型二輪による事故で死者1人となった。

		二輪車				
		小型二輪	軽二輪	原付二種	原付	計
R05年	件数	1	1			2
	死者数	1				1
	傷者数	1	1			2
R04年	件数					
	死者数					
	傷者数					
増減数	件数	1	1			2
	死者数	1				1
	傷者数	1	1			2

※第一当事者別発生状況

(2) 高校生の交通事故

・死者はなく、傷者は自転車乗用中の26人が最も多かった。

状態 年齢	四輪乗車中				二輪乗車中		自転車乗用中	歩行中	電車自動車 軽車両等	計
	乗用車		貨物車		自動二輪	原付				
	運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	運転中				
高校生		1					26	3		30

(3) 歩行者の交通事故

【死者数】

- ・全体の死者数10人中、歩行中の死者数は1人(構成率10%)であった。
- ・歩行中の死亡者1人は、高齢者であった。

【傷者数】

- ・全体の傷者数630人中、歩行者の傷者数は58人(構成率9.2%)であった。
- ・高齢歩行者の傷者数は18人であった。

※重複含む

未就学児	幼稚園児	小学生	中学生	高校生	※15歳以下	※16-19歳	20-24歳	25-29歳	
1		3		3	5	3	4	4	
30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上		歩行者の 全体傷者数 58
3	7	9	5	5	2	2	9		

高年齢者(18)

(4) こどもの交通事故(未就学児~小学生)

・こどもの傷者数は22人(構成率3.5%)であった。

	乗用車 (同乗中)	貨物車 (同乗中)	自転車乗用中	歩行中	電車自動車 軽車両等	計
未就学児				1		22
幼稚園児	5		2		1	
小学生	2	1	7	3		

(5) 高齢者(65歳以上)の交通事故

- ・全体死者数 10 人のうち、高齢者は 5 人（構成率 50.0%）であった。
- ・全体発生件数 560 件のうち、高齢運転者が第一当事者であったのは 169 件（構成率 30.2%）であった。
- ・全体傷者数 630 人中、高齢者は 93 人（構成率 14.8%）であった。

年齢	状態	四輪乗用車		四輪貨物車		自動二輪		特殊車 乗車中	自転車 乗用中	歩行中	電車・自動車 軽車両等	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
高齢者	65-69歳									1		1
	70-74歳					1						1
	75-79歳											
	80歳以上		2	1								3
高齢者計			2	1		1				1		5
構成率			40.0%	20.0%		20.0%				20.0%		100.0%

P4. (8) 年齢層別状態別死者・傷者数【年齢層別状態別死者数】より抜粋

年齢	状態	四輪乗用車		四輪貨物車		自動二輪		特殊車 乗車中	自転車 乗用中	歩行中	電車・自動車 軽車両等	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
高齢者	65-69歳	15	3	1					1	5		25
	70-74歳	21							3	2	1	27
	75-79歳	6	3	1					1	2		13
	80歳以上	8	6						5	9		28
高齢者計		50	12	2					10	18	1	93
高齢者構成率		53.8%	12.9%	2.2%					10.8%	19.4%	1.1%	100.0%

P4. (8) 年齢層別状態別死者・傷者数【年齢層別状態別傷者数】より抜粋

		高 齢 運 転 者
R05	発生件数	169
	構成率	28.6%
	死者数	2
	構成率	14.3%
	傷者数	191
	構成率	28.2%

P6. (11) 対象別発生状況（第一当事者）より抜粋

(6) 自転車による交通事故

- ・自転車乗用中の死者数はなかった。
- ・自転車乗用中の傷者数は 67 人となり昨年（37 人）より 30 人増加した。

○自転車乗用中被害の違反別傷者数

	通行区分違反	交差点安全 進行義務違反	一時不停止	安全不確認	その他	違反なし 第3当以下	合計
死者数							
傷者数	1	9	4	3	3	47	67

(7) 飲酒運転による交通事故

- ・酒酔いによる発生はなかった。
- ・酒気帯びによる発生件数は 7 件（構成率 1.3%）で、死者は 0 人であった。

		酒酔い	酒気帯び（内数）		全体 発生件数
			0.25未満	0.25以上	
R05	件数		1	6	560
	死者数				10
	傷者数		1	9	630
R04	件数			4	404
	死者数				7
	傷者数			5	446

§ 4 交通事故防止に向けた取組み

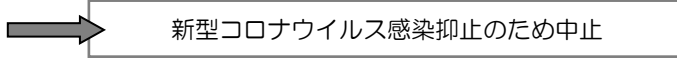
(1) 令和5年(2023年)取組概要 ※当局主催、及び参加分

実施日	事業名及び取り組み概要(主催)	場所
3月17日(金)	令和5年交通安全運動「春の推進会議」(十勝総合振興局)	十勝総合振興局
5月11日(木)	春の全国交通安全運動「交通安全祈願祭」(帯広市交通安全協会)	帯広明神大社
5月19日(金)	春の全国交通安全運動「交通事故死ゼロを目指す日」に先駆けた旗の波作戦(十勝総合振興局)	十勝合同庁舎前国道38号
6月23日(金)	「無事故の日」に先駆けた旗の波作戦(十勝総合振興局)	十勝合同庁舎前国道38号
7月5日(水) 7月11日(火) 7月18日(火)	十勝総合振興局管内飲酒運転根絶緊急対策に係る街頭啓発(十勝総合振興局)	道の駅 あしよろ銀河ホール21 道の駅 おとふけなつぞらのふる里 道の駅 なかさつない
7月12日(水)	夏の交通安全運動に伴う出動式(釧路方面帯広警察署)	よつ葉アリーナ十勝 駐車場
7月13日(木)	「飲酒運転根絶の日」決起大会(北海道交通安全推進委員会、十勝地区交通安全推進協議会、十勝総合振興局)	十勝総合振興局
7月13日(木)	「飲酒運転根絶の日」街頭啓発(十勝総合振興局)	帯広市内中心部飲食店
8月22日(火)	「交通事故ストップ十勝百日作戦」及び「秋の全国交通安全運動」推進会議(十勝総合振興局)	十勝総合振興局
9月20日(水)	秋の全国交通安全運動に伴う出動式の開催について(釧路方面帯広警察署)	よつ葉アリーナ十勝 駐車場
9月20日(水)	秋の全国交通安全運動「交通安全祈願祭」(帯広市交通安全協会)	帯広明神大社
9月21日(木)	秋の全国交通安全運動 第14回帯広市交通事故抑止総決起大会(帯広市、帯広市交通安全推進委員連絡協議会)	帯広市中央公園
9月22日(金)	秋の踏切事故防止キャンペーン(北海道旅客鉄道株式会社)	A団地踏切(帯広市)
9月29日(金)	「交通事故死ゼロを目指す日」旗の波作戦(十勝総合振興局)	十勝合同庁舎前国道38号
10月4日(水)	ドライブマネージャー・テイルライト・シートベルトチャレンジ作戦(帯広地区安全運転管理者協会)	国道38号 中島公園前
10月4日(水)	交通死亡事故抑止全市一斉街頭啓発(帯広市、帯広市交通安全協会)	大通南1丁目交差点
11月16日(木)	冬の踏切事故防止キャンペーン(北海道旅客鉄道株式会社)	JR帯広駅改札口及びコンコース
11月16,17日(木金)	観光客交通事故防止啓発(十勝総合振興局)	空港近郊レンタカー5社 十勝川温泉周辺ホテル4社
11月21日(火)	冬の交通安全運動に係る啓発活動(帯広市)	びあざフクハラ西帯広店
12月13日(水)	交通安全と防犯の街頭啓発活動(帯広市、帯広市交通安全推進委員連絡協議会、帯広市防犯協会)	セブン&ホールディングス株式会社 イトーヨーカ堂帯広店

(2) 高齢者による交通事故防止への取組み

- 「とち交通安全メッセージ作戦」

児童から家族（特に高齢者）へメッセージ付きのキーホルダーを手渡し、家族ぐるみの交通安全意識の醸成と向上をはかることにより、未然に交通事故を防ぐことを目指すもの。



- 夜光反射材普及啓発

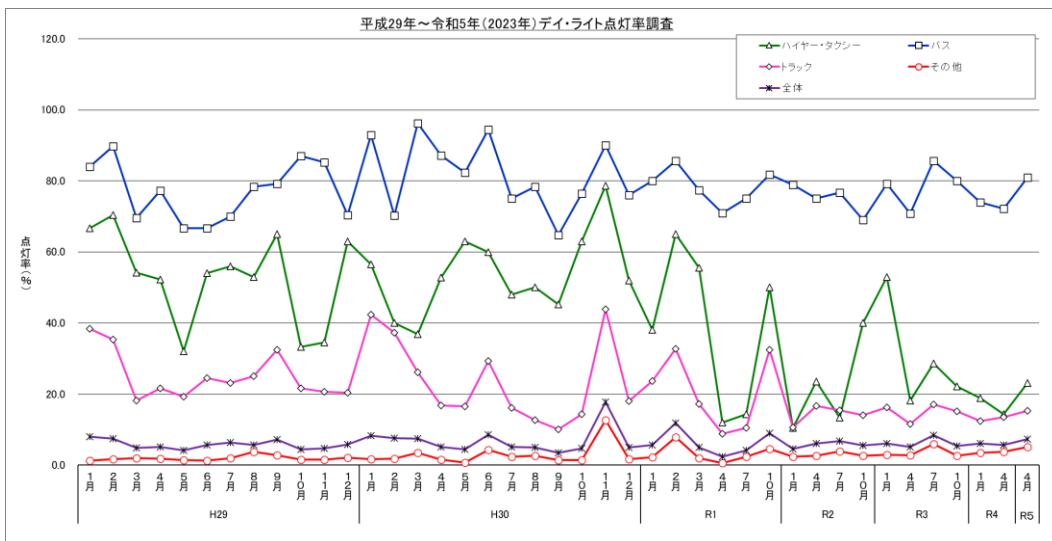
十勝合同庁舎 1 階道民ホールの交通安全情報板を利用し、反射材の配布等を実施した。

(3) デイ・ライト点灯率調査

R5(2023年)デイトライト点灯率調査(%)

	4月
ハイヤー・タクシー	23.1
バス	81.0
トラック	15.3
その他	5.1
平均	7.3

- ・バスが最も高く 81.0%であった。
- ・最も低かったのはその他（乗用等）で 5.1%であった。



※調査地点：帯広市西2条北1丁目 国道38号線交差点

※調査時間：14:00～15:00までの1時間

※調査日：4月の第2金曜日

※H31.4～四半期ごとの調査へ変更

※R4年度～年1回調査へ変更。

公益社団法人北海道交通安全推進委員会での協議の結果、年一回調査へ変更。
 (デイトライト運動はある程度定着しており、経年変化を確認することで調査目的は達成されると判断されたため)

参考資料

1.管内死亡事故の概要

令和5年（2023年） 十勝管内の交通死亡事故一覧表

1	日時	令和5年3月8日（水）午後7時48分頃			
	場所	中札内村大通南4丁目（国道236号）			
	天候	晴れ	路面		乾燥
	市街地 非市街地	市街地	形状		直線
	形態	人対車両 横断中	死亡者状況		道路横断中
	<p>普通乗用A×歩行者B</p> <p>A 普通乗用 更別村 43歳（男性）</p> <p>B 歩行者 中札内村 66歳（男性） 死亡</p>				<p>現場は見通しの良い直線道路。横断歩道や信号機はない。普通乗用Aが帯広市へ向かって北進中、道路を歩いていたBと衝突した。普通乗用Aの左前方が大破した。</p>
2	日時	令和5年7月3日（月）午後2時31分頃			
	場所	芽室町西8条9丁目（国道）			
	天候	晴れ	路面		乾燥
	市街地 非市街地	非市街地	形状		交差点
	形態	車両相互 出会い頭	死亡者状況		運転中
	<p>大型貨物A×普通二輪B</p> <p>A 大型貨物 清水町 43歳（男性）</p> <p>B 普通二輪 苫小牧市 19歳（男性） 死亡</p>				<p>現場は信号機のない国道と町道が交わる交差点。町道を南進していた大型貨物Aと、国道を西に進んでいた普通二輪Bが出会い頭に衝突した。大型貨物A側に一時停止の標識があった。</p>
3	日時	令和5年7月23日（日）午前7時25分頃			
	場所	大樹町生花（道道）			
	天候	—	路面		乾燥
	市街地 非市街地	非市街地	形状		カーブ
	形態	車両相互 正面衝突	死亡者状況		運転・同乗中
	<p>普通乗用A×普通乗用B</p> <p>A 運転：釧路町 19歳（男性） 死亡 同乗：釧路市 19歳（男性） 死亡 同乗：釧路市 19歳（男性） 死亡 同乗：釧路管内 18歳（男性）</p> <p>B 運転：大樹町 66歳（男性） 同乗：大樹町 92歳（女性） 死亡 同乗： 90代（男性）</p>				<p>現場は片側一車線の緩やかなカーブ。対向車線にはみ出したAが、Bと正面衝突した。タイヤ痕から、Aはカーブ入り口で対向車線をはみ出し、左ハンドルを切り走行車線側の路外に逸脱したため、右にハンドルを切り対向車線をはみ出したとみられる。また、Aはスタッドレスタイヤを装着しており、車体の破損状況から相当なスピードが出ていたとみられる。</p>

4	日時	令和5年9月17日（日）午前10時5分頃			略図なし
	場所	足寄郡下愛冠（国道242号）			
	天候	—	路面	—	
	市街地 非市街地	非市街地	形状	カーブ	
	形態	車両相互 正面衝突	死亡者状況	運転中	
	大型二輪A×大型貨物B A 大型二輪 小清水町 72歳（男性） 死亡 B 大型貨物 斜里町 55歳（男性）				
5	日時	令和5年10月13日（金）午後4時20分頃			略図なし
	場所	陸別町利別川上原野基線東（国道242号）			
	天候	—	路面	—	
	市街地 非市街地	非市街地	形状	単路 カーブ	
	形態	車両相互 正面衝突	死亡者状況	同乗中	
	軽四乗用A×普通乗用B A 軽四乗用 （女性1名） B 普通乗用 （男女3名） 陸別町86歳女性死亡				
6	日時	令和5年11月30日（木）午前5時10分頃			略図なし
	場所	芽室町西土狩（帯広広尾自動車道上）			
	天候	—	路面	乾燥	
	市街地 非市街地	市街地	形状	単路 その他	
	形態	車両相互 追突	死亡者状況	運転中	
	普通乗用A×大型貨物B A 普通乗用 帯広市 41歳 死亡 B 大型貨物 幕別町 41歳				
7	日時	令和5年12月28日（木）午後1時20分頃			略図なし
	場所	池田町常盤（道道 下居辺高島停車場線）			
	天候	晴れ	路面	乾燥	
	市街地 非市街地	非市街地	形状	直線	
	形態	車両単独 電柱	死亡者状況	運転中	
	軽四貨物A×電柱 A 軽四貨物 池田町 86歳（男性） 死亡				

2.管内の交通安全功労者等

令和5年度（2023年度）交通安全功労者等の表彰状況

1. 全日本交通安全協会・警察庁長官表彰（十勝地区）

交通栄誉章・緑十字銀章 交通安全功労者

1名 （本別町）

交通栄誉章・緑十字銀章 優良運転者

1名 （帯広市）

2. 北海道知事表彰(十勝地区)

北海道社会貢献賞（交通安全功労者）

0名

北海道善行賞（交通安全実践者）

4名 （帯広市3名、本別町1名）

3. 公益社団法人北海道交通安全推進委員会会長表彰（十勝地区）

交通安全指導員・奉仕員表彰受賞者

7名 （音更町5名、大樹町1名、豊頃町1名）

3.十勝地区交通安全推進協議会の規約等

十勝地区交通安全推進協議会規約

(目 的)

第 1 条 この会は、公益社団法人北海道交通安全推進委員会の事業を地域に適応させ円滑に運営するとともに十勝管内における交通道德の向上と交通事故防止のための住民運動を活発に展開することを目的とする。

(名 称)

第 2 条 この会は、十勝地区交通安全推進協議会とする。

(業 務)

第 3 条 この会は、第 1 条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 公益社団法人北海道交通安全推進委員会が行う事業への参画。
- (2) 住民運動を効果的に推進するための企画立案と実践。
- (3) 構成員相互の連絡調整。
- (4) 交通安全に関する調査研究。
- (5) その他、地区において必要と認める事項。

(事 務 局)

第 4 条 この会の事務局は十勝総合振興局保健環境部環境生活課内におく。事務局の規程は別に定める。

(構 成 員)

第 5 条 この会は、次の者をもって構成する。

- (1) 十勝管内の市町村単位に設置されている交通安全を推進する団体、〈市町村推進委員(協議)会〉
- (2) 十勝総合振興局
- (3) その他、十勝管内全域にわたって交通安全に関係の深い団体。但し、総会の承認を得ること。

(役 員)

第 6 条 この会に次の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	1 名
常任委員	若干名
監 事	2 名

(役員 の 選 任)

第 7 条 役員は、構成委員の互選による。

(役員 の 任 期)

第 8 条 役員任期は、2年とし再選を妨げない。

(役員 の 職 務)

第 9 条 会長は、この会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
- 3 常任委員は、会務を執行する。
- 4 監事は、会計を監査する。

(顧問及び参与)

第 10 条 この会に、顧問及び参与を置くことができる。

- 2 顧問、参与は、役員会に諮って会長が委嘱する。

(会 議)

第 11 条 会議は、総会及び役員会とする。

- 2 総会及び役員会は、書面によって表決する会議とすることができる。

(会議 の 構 成)

第 12 条 総会は、第 5 条の構成員をもって構成する。

- 2 役員会は、第 6 条の役員をもって構成する。

(会議 の 招 集)

第 13 条 会議は会長が招集する。

(経 費)

第 14 条 この会は、つぎの経費をもって運営する。ただし、構成員が必要と認めた場合は、その事業に必要なとする経費の分担金等を総会に諮り徴収することができる。

- (1) 交付金

(2) 雑収入

(3) その他の収入

(会計年度)

第15条 この会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(委任)

第16条 この規程に定めるものの他、この会の運営に必要な事項は、役員会に諮って会長が定める。

附 則

1. この規約は、昭和58年4月1日から施行する。

※「十勝地方交通安全運動推進委員会規約（昭和50年4月1日施行）」は、本規約施行に伴い廃止された。

2. 平成9年6月17日より一部改正施行する。

3. 平成18年4月1日より一部改正施行する。

4. 平成22年4月1日より一部改正施行する

5. 平成28年5月30日より一部改正施行する。

十勝地区交通安全推進協議会事務局規程

第1条 十勝地区交通安全推進協議会規約第4条に基づく事務局の運営は、この規程の定めるところによる。

第2条 事務局は次の職を置き、会の事務を司る。

局長 1名
幹事 1名
書記 1名
推進員 1名

2 局長、幹事、及び書記は、十勝総合振興局保健環境部環境生活課の次の職員をもって充てる。

局長 環境生活課長
幹事 道民生活係長、主査（道民生活）の職にあるもの
書記 主任、主事の職にあるもの
推進員 1名

3 推進員は、公益社団法人北海道交通安全推進委員会長が委嘱し、当総合振興局地区に配置される交通安全推進員をもって充てる。

第3条 局長は、事務を統括する。

2 幹事、書記、推進員は、局長の指示を受け局務に従事する。

第4条 事務局職員は、次の事務を司る。

- (1) 一般庶務
- (2) 関係機関との連絡調整に関すること。
- (3) 事務の企画、立案に関すること。
- (4) 実践活動の推進、及び広報に関すること。

第5条 この規程に定めのない事項については、局長が別に定める。

附 則

1. この規程は、昭和58年4月1日より施行する。
2. 昭和58年8月22日より一部改正施行する。
3. 平成9年6月17日より一部改正施行する。
4. 平成18年4月1日より一部改正施行する。
5. 平成22年4月1日より一部改正施行する。
6. 平成23年4月1日より一部改正施行する。
7. 平成30年4月1日より一部改正施行する。

4.十勝地区交通安全推進協議会構成団体名簿

令和5年度（2023年度）北海道交通安全推進委員会正会員名簿（十勝地区）

団 体 名		職 名	氏 名	地区協議会 役 職
音更町	音更町交通安全運動推進委員会	委員 長	藤 川 幸 二	監 事
士幌町	士幌町生活安全推進協議会	会 長	加 納 利 春	
上士幌町	上士幌町生活安全推進協議会	会 長	長 屋 光 男	
鹿追町	鹿追町交通安全推進委員会	会 長	喜 井 知 己	
新得町	新得町交通安全推進協議会	会 長	浜 田 正 利	常 任 委 員
清水町	清水町生活安全推進委員会	会 長	阿 部 一 男	
芽室町	芽室町交通安全推進委員会	会 長	田 島 直 人	
中札内村	中札内村地域安全推進協議会	会 長	吉 倉 孝 尚	
更別村	更別村生活安全推進協議会	会 長	梶 浦 純 二	
大樹町	大樹町地域安全推進協議会	会 長	三 浦 祥 嗣	
広尾町	広尾町地域安全推進協議会	会 長	池 下 藤 吉 郎	常 任 委 員
幕別町	幕別町生活安全推進協議会	会 長	平 井 明 光	監 事
池田町	池田町生活安全推進協議会	会 長	野 村 修	
豊頃町	豊頃町生活安全推進協議会	会 長	按 田 武	
本別町	本別町交通安全推進委員会	会 長	佐 々 木 基 裕	常 任 委 員
足寄町	足寄町交通安全推進委員会	会 長	渡 辺 俊 一	
陸別町	陸別町交通安全推進委員会	会 長	本 田 学	
浦幌町	浦幌町生活安全推進協議会	会 長	水 澤 一 廣	
帯広市	帯広市交通安全推進委員連絡協議会	会 長	塚 田 茂 男	常 任 委 員
十勝地区交 通安全推進 協議会	十勝総合振興局長	芳 賀 是 則	会 長	
	十勝総合振興局暮らし・子育て担当部長	小 原 由 佳	副 会 長	
	十勝総合振興局保健環境部 環境生活課長	廣 橋 直 子	事 務 局 長	
	十勝総合振興局保健環境部 環境生活課係長	磯 崎 吉 晴	幹 事	
	十勝総合振興局保健環境部 環境生活課主事	吉 竹 華 香	書 記	
	(公益社団法人)北海道交通安全推 進委員会十勝地区交通安全推進員	加 須 屋 加 織	推 進 員	

令和5年（2023年）交通安全運動年間スローガン



ストップ・ザ・交通事故

～めざせ 安全で安心な北海道～



令和5年（2023年） 十勝の交通安全

令和6年（2024年）2月

発行 十勝地区交通安全推進協議会
編集 十勝総合振興局保健環境部環境生活課

※お問い合わせ

事務局：十勝総合振興局保健環境部環境生活課（道民生活係）
TEL：（0155）26-9249 FAX：（0155）22-3746